

京都府立図書館 特設展示

日本の住宅建築 ～戦後の変遷とこれからの住まい方～

日本の住宅建築の展覧会がローマ、ロンドンを巡回した後、昨年東京で開催されました。戦後の日本住宅の狭さとローコストゆえに凝らされた創意工夫や、その時代らしさを表す創造性が高く評価されているようです。

また、欧米諸国の建築家の仕事は公共建築が中心ですが、日本では著名な建築家も住宅建築を手掛けているそうです。

そのような戦後日本の住宅建築の特徴がわかる本から、空き家問題、リノベーションなど、これからの住まい方についての本までを特集しますので、どうぞご覧ください。

期間 平成 30 年 3 月 23 日（金）～5 月 23 日（水）

場所 京都府立図書館 地下 1 階特設コーナー
（京都市左京区岡崎成勝寺町）

～資料概要 資料の一部をご紹介します～



戦後の変遷を知る

『戦後日本住宅伝説』 新建築社（2014）



名作住宅

『「奇跡」と呼ばれた日本の名作住宅 50』 エクスナレッジ（2014）



住宅を手掛けた建築家

『66 人の建築家がつくった「たったひとつの家」』
鈴木 紀慶／著 世界文化社（2017）



これからの住まい方

☆コミュニティ

『住まいと町とコミュニティ』 大月 敏雄／著 王国社（2017）

☆リノベーション

『ぼくらのリノベーションまちづくり』 嶋田 洋平／著 日経 BP 社（2015）

☆空き家問題

『解決!空き家問題』 中川 寛子／著 筑摩書房（2015）